

## 平成29年度 第5回 政策会議 審議結果

日時：平成29年11月14日（火）10：00～12：00

場所：5階庁議室

【議題】 熊本市経済・観光成長戦略（素案）の策定について

【提案局】 経済観光局（経済政策課）

【出席者】 大西市長、多野副市長、植松副市長、政策局長、政策局総括審議員、総務局長、  
財政局長、健康福祉局長、環境局長、農水局長、都市建設局長

【付議内容】 熊本市経済・観光成長戦略（素案）の内容を確定したい。

【資料】

- ◇ 政策会議次第
- ◇ 政策会議席次表
- ◇ 付議事項調書（様式1）
- ◇ 政策調整会議内容検討表（様式4）
- ◇ 概要版パンフレットイメージ
- ◇ 熊本市経済・観光成長戦略（素案）の概要
- ◇ 熊本市経済・観光成長戦略（素案）（本編）
- ◇ 熊本市経済・観光成長戦略（素案）（資料編）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇熊本市経済・観光成長戦略（素案）について、以下の点を修正のうえ了承した。  
・「成長戦略」という計画名と位置づけを修正し、実施計画として策定すること。

【審議の経過】 ◇「成長戦略」の名称を用いるならば、より広範な意見を集約し、復興期以降の将来像を示すべきではないか。（政策局長）

◇素案の内容は、既存の事業が列記されているなど、実施計画的であり、「戦略」の名称と齟齬をきたしている。（健康福祉局長）

◇2年間の実施計画としての位置づけに変更してはどうか。現状データを分析したうえでの課題抽出や、その対策として各事業が示されているなど、実施計画であれば内容は充足している。（大西市長）

◇経済分野は、国の指針が頻繁に変動するため、長期的な計画を策定しても、すぐに国の指針と不整合が生じてしまう。

緻密な現状分析に基づく基礎的データを作成し、その分析を経た事業を実施計画に組み込み、2～3年で実施していく仕組みに変更した方が良い。

（多野副市長）

◇現状や課題を分析しながら効果的な事業を実施し、その結果を効果検証することで機動力が高まる。事業を機動的に改定しながら施策を推進していく仕組みに変更してはどうか。（大西市長）